

**製品名: Rab7 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21482**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:24kD;Observed MW:24kD

**抗原情報**

遺伝子名	RAB7A
別名	RAB7
遺伝子 ID	7879.0
SwissProt ID	P51149
免疫原	ヒト RAB7 の合成ペプチド

**背景**

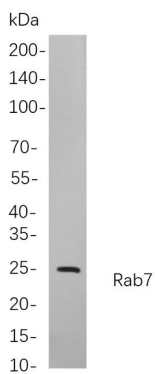
細胞局在: 細胞質。RAB ファミリーのメンバーは、RAS 関連 GTP 結合タンパク質の小型タンパク質であり、小胞輸送の重要な調節因子です。各 RAB タンパク質は、エキソサイトーシス / エンドサイトーシス経路で作用する複数のタンパク質を標的とします。この遺

伝子は、後期エンドソーム内および後期エンドソームからリソソームへの小胞輸送を制御する RAB ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、ヘリコバクター・ピロリの VacA 細胞毒素の細胞内空胞化にも関与しています。この遺伝子の高度に保存されたアミノ酸残基の変異は、シャルコー・マリー・トゥース病 (CMT) 2 型神経障害のいくつかの形態を引き起こします。  
[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析 (Rab7 Rabbit mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。